

永遠のハバナ (2003)

SUITE HABANA

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 キューバ/スペイン

色彩 Color

時間 84分

初公開日 2005/03/12

公開情報 アクション

【キャッチコピー】

ゲバラもジョン・レノンも、もういない
でも、わたしたちの人生は、ここにある

【解説】

キューバの首都であり、文豪ヘミングウェイが愛した街としても知られるハバナの、ある一日を切り取ったドキュメンタリー。「ハローヘミングウェイ」のフェルナンド・ペレス監督が、名もなき市民12人の暮らしぶりを通して本当のハバナの姿を優しく描き出す。セリフやナレーションを排し、映像と音楽、そして街の音だけで淡々とつづられていく。

灯台の明かりが消え、キューバの首都ハバナに新たな一日がやってきた。ダウン症の小学生フランシスキートが学校へ向かう準備をし、祖母と朝食をとる。一方、左官工であるフランシスキートの父フランシスコは、バレエダンサーの青年エルネストの家へ仕事に出かける。79歳のアマングは街角でピーナッツを売り、エリベルトは自転車で鉄道修理の仕事へ向かう。病院に勤務するイヴァンは、靴修理屋のフリオにハイヒールの修理を頼む。やがて日が暮れ、夜を迎えると、街の表情も一変し、昼間の登場人物たちも新たな一面を見せるのだった…。

【クレジット】

監督 フェルナンド・ペレス Fernando Perez

製作 ホセ・マリア・モラレス Jose Maria Morales

カミロ・ビベス Camilo Vives

脚本 フェルナンド・ペレス Fernando Perez

撮影 ラウル・ペレス・ウレタ Raul Perez Ureta

音楽 エデシオ・アレハンドロ Edesio Alejandro

エルネスト・シスネロス Ernesto Cisneros